

学術フォーラムの概要について（事後報告）

1 名 称：「科学的エビデンスに基づく『スポーツの価値』の普及の在り方」

2 日本学術会議以外の共同主催団体等：

- ・後援：スポーツ庁
- ・協賛：なし

3 開催日時：令和元年10月3日（木） 13時00分～17時00分

4 開催場所：日本学術会議講堂

5 開催趣旨：

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を目前に控え、学術の観点からスポーツの在り方を考える機会が訪れている。スポーツ庁は、「第2期スポーツ基本計画」を策定し、国民に科学的エビデンスや知見に基づく「スポーツの価値」を普及・啓発することを推進している。スポーツは、スポーツ独自の問題にとどまらず、科学や技術、思想、社会、人びとの生き方、共感の在り方と深くつながり、学術の観点からの再検討が必要である。このような状況の中、スポーツ庁長官より、科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関して、学術会議に審議依頼があった。本フォーラムでは、スポーツ庁からの依頼により組織された委員会の活動を紹介し、スポーツにおけるエビデンスの重要性、メンタルヘルス、スポーツ現場の講演を行う。また、「勝利に向かう一元的価値から多様な価値を承認する社会へ」をテーマに、パネリストを交えて討論を行う。

6 参加人数

講演者等：13名

その他の参加者：96名

7 特記事項：

時代とともに変化するスポーツの価値について、科学的エビデンスとの関係に焦点をあてながら様々な観点から発表いただき、それをもとに多様な分野の科学者が議論した学術フォーラムであった。議論の中で、スポーツの価値は勝負よりもっと大きな社会的意義があることが共有された。本フォーラムには大学、企業、団体等様々な所属機関から参加いただき、その中で学術会議の講演会に初参加の参加者が半数を超え、従来とは異なる人々との対話のきっかけとなった。